

令和6年度

昭島市立昭和中学校

学校経営重点計画(教育推進計画)総括表

| | | | |
|--------|------------------------------|-------------|--|
| 学校教育目標 | 夢への挑戦 ～ 広げよう可能性 高めよう創造性 ～ | 【目指す学校像】 | ①知・徳・体をバランスよく育む学校 ②落ち着いた中にも活力がある学校 ③環境が整った安心・安全な学校 ④家庭・地域とのつながりを大切にする学校 |
| | | 【目指す児童・生徒像】 | ①自ら考え深く学ぶ生徒 ②自他ともに大切にできる生徒 ③やり抜くことができるたくましい生徒 |
| | | 【目指す教師像】 | ①豊かな人間性を備え、生徒の鏡となれる教師 ②生徒と正面から向き合い、信頼される教師 ③「できて・わかって・楽しい」授業ができる教師 ④組織の一員として学校運営に貢献できる教師 |

| 領域 | 中期経営目標 (3年間) | 短期経営目標 (1年間) | 具体的方策 | 取組指標 | 評価 | 成果指標 | 評価 | 自己評価結果の分析 | 学校関係者評価 | 評価 | 次年度への改善策 |
|-------|---|---|---|-----------------------------|----|------------------------------|----|---|---------|---|----------|
| 確かな学力 | 基礎的・基本的な知識や技能の習得、思考力・判断力・表現力等を育成し、主体的に学ぶ態度の育成と学びに向かう力と人間性等を養う。 | 目標の明示と振り返りの活用から指導と評価の一体化による学力を定着させる。 思考力・判断力・表現力の育成を図り、自分の考えを他者に伝える力を育む。 主体的に学習に取り組む態度の育成と家庭学習の定着を図る。 | 学習目標を提示し振り返りを工夫することで、学習理解を深める。 書くこと、発表することやICTの活用により、表現力を意識した授業を実施する。 シラバスの活用と各教科での学習課題の明確な提示から、適切な評価・評定を行う。 | 4 毎時間目標を明示し、振り返りを工夫した。 | 4 | 4 「授業をよく理解できた」と答える生徒が90%以上 | 4 | 授業がとてもしっかりや、分かりやすいの合計が93%だった。全校での授業改善が活かされている。 | A | 教科によって差異があるので、平均的に高い数値にする。 | |
| | | | | 3 8割以上の授業で目標を明示し、振り返りを工夫した。 | | 3 「授業をよく理解できた」と答える生徒が70%以上 | | | | | |
| | | | | 2 5割以上の授業で目標を明示し、振り返りを工夫した。 | | 2 「授業をよく理解できた」と答える生徒が50%以上 | | | | | |
| 豊かな心 | 全教育活動を通じて、人権教育・心の教育を推進し、自立した人間として、他者とともによりよく生きるための基盤となる豊かな人間性を育む。 | 全教育活動を通じて生徒の努力を認め、自己有用感を育み自尊感情を高める。 ①内容項目を理解し、議論や発問の工夫を行う。 ②全教科で内容項目に関連付けて適切に指導する。 未然防止に努めながら、いじめへの適切な対応と、毎月の生活アンケートを実施するとともに校内委員会を定期実施する。 | ①「勇気づけ言葉」を活用し、頑張らせ、勇気づけ、ほめる指導を推進する。 ②内容項目を理解し、議論や発問の工夫を行う。 ③全教科で内容項目に関連付けて適切に指導する。 安全集会を実施して未然防止の指導を行う。また、毎月の生活アンケートを実施するとともに校内委員会を定期実施する。 | 4 勇気づけ、ほめる指導の実践が定着した。 | 4 | 4 教員は良さを認め伸ばしてこれる感じる生徒が80%以上 | 4 | 良さを認め伸ばしてくれている生徒が約85%だった。勇気づけ言葉が浸透してきていると感じている。 | A | 勇気づけ言葉を引き続き活用していく。 | |
| | | | | 3 共感し、認めることで助言につなげた。 | | 3 教員は良さを認め伸ばしてこれる感じる生徒が60%以上 | | | | | |
| | | | | 2 共感し、認める努力をした。 | | 2 教員は良さを認め伸ばしてこれる感じる生徒が40%以上 | | | | | |
| 健やかな体 | 心身共にたくましく、健やかな生徒の育成を図り、健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う。 | 体育的な活動を効果的に実施し、体力向上と生涯にわたってスポーツに親しむ態度を育成する。 未然防止を重視し、安全指導を計画的に実施する。自殺予防教育や命教育・薬物乱用防止教育を実施する。 SNSの活用について考え、規則正しい生活を送らせる。 | 体力向上の個人目標を設定する。保体授業TTや男女共習授業と部活動を充実する。 安全指導を計画的に実施する。自殺予防教育や命教育・薬物乱用防止教育を実施する。 SNS学校ルールの定着及び家庭ルールの作成・定着を徹底する。 | 4 生徒の目標達成のために積極的に支援した。 | 3 | 4 体力テストで全学年が都標準以上 | 2 | ほぼ平均であったが、男女別でやや上回る、やや下回るが混在していた。全体的な課題は敏捷性(反復横跳び)だった。 | B | 体力テスト結果を分析して、保健体育の授業改善に活かしていく。 | |
| | | | | 3 生徒の目標達成のために支援した。 | | 3 体力テストで2つの学年が都標準以上 | | | | | |
| | | | | 2 生徒の目標を理解し助言した。 | | 2 体力テストで1つの学年が都標準以上 | | | | | |
| 輝く未来 | 学習や生活の基盤として、教師と生徒との信頼関係を築き、生徒一人一人に応じた指導・支援を図る。 | 年間を通じた計画的な教育相談の実施と、教師によるカウンセリングを充実させる。 キャリア教育の計画的な推進と夢の実現に向けて努力する生徒を育成する。 生徒理解に基づき、個への配慮が必要な生徒への適切な対応を行い、保護者との連携と合理的配慮の推進を図る。 | 面談指導の計画的な実施や、個の課題解決を支援する個別の会話・面談や言葉かけを行う。 適切な進路指導計画の作成と計画的な推進を図り、キャリアアルバムを活用する。 特別な支援を要する生徒への適切な対応を行い、保護者との連携と合理的配慮の推進を図る。 | 4 定期面談・随時面談・OUのすべてを活用、実施した。 | 3 | 4 SNSルールの徹底を家庭に指導した。 | 4 | 「自分や友達を大切にしている」の項目で、そう思う、とてもそう思うが96%だった。風土が定着している。 | A | 引き続き命を大切に指導と、安心・安全な学校生活のための指導を継続していく。 | |
| | | | | 3 SNSルールを学級で指導徹底した。 | | 3 SNSルールが定着した生徒が80%以上 | | | | | |
| | | | | 2 SNS家庭ルールの作成を家庭に指導した。 | | 2 SNSルールを意識している生徒が50%以上 | | | | | |
| 輝く未来 | 学習や生活の基盤として、教師と生徒との信頼関係を築き、生徒一人一人に応じた指導・支援を図る。 | 面談指導の計画的な実施や、個の課題解決を支援する個別の会話・面談や言葉かけを行う。 適切な進路指導計画の作成と計画的な推進を図り、キャリアアルバムを活用する。 特別な支援を要する生徒への適切な対応を行い、保護者との連携と合理的配慮の推進を図る。 | 面談指導の計画的な実施や、個の課題解決を支援する個別の会話・面談や言葉かけを行う。 適切な進路指導計画の作成と計画的な推進を図り、キャリアアルバムを活用する。 特別な支援を要する生徒への適切な対応を行い、保護者との連携と合理的配慮の推進を図る。 | 4 先生に相談すると安心できる生徒が80%以上。 | 3 | 4 SNSルールの徹底を家庭に指導した。 | 4 | 「学校で学んだルールを生活で生かしている」で、そう思う、とてもそう思うが81%だった。全校の指導が生きている。 | A | しっかりと指導されている一方、SNSの時間のルールが守られていない生徒がいる。 | |
| | | | | 3 先生に相談すると安心できる生徒が60%以上。 | | 3 SNSルールを学級で指導徹底した。 | | | | | |
| | | | | 2 先生に相談すると安心できる生徒が40%以上。 | | 2 SNS家庭ルールの作成を家庭に指導した。 | | | | | |
| 輝く未来 | 学習や生活の基盤として、教師と生徒との信頼関係を築き、生徒一人一人に応じた指導・支援を図る。 | 面談指導の計画的な実施や、個の課題解決を支援する個別の会話・面談や言葉かけを行う。 適切な進路指導計画の作成と計画的な推進を図り、キャリアアルバムを活用する。 特別な支援を要する生徒への適切な対応を行い、保護者との連携と合理的配慮の推進を図る。 | 面談指導の計画的な実施や、個の課題解決を支援する個別の会話・面談や言葉かけを行う。 適切な進路指導計画の作成と計画的な推進を図り、キャリアアルバムを活用する。 特別な支援を要する生徒への適切な対応を行い、保護者との連携と合理的配慮の推進を図る。 | 4 先生に相談すると安心できる生徒が80%以上。 | 3 | 4 SNSルールの徹底を家庭に指導した。 | 4 | 自分の将来を考え、向いていることを考えている生徒は約80%だった。系統だったキャリア教育が概ね生きている。 | B | 引き続き系統だったキャリア教育を進めていく。 | |
| | | | | 3 先生に相談すると安心できる生徒が60%以上。 | | 3 SNSルールを学級で指導徹底した。 | | | | | |
| | | | | 2 先生に相談すると安心できる生徒が40%以上。 | | 2 SNS家庭ルールの作成を家庭に指導した。 | | | | | |
| 輝く未来 | 学習や生活の基盤として、教師と生徒との信頼関係を築き、生徒一人一人に応じた指導・支援を図る。 | 面談指導の計画的な実施や、個の課題解決を支援する個別の会話・面談や言葉かけを行う。 適切な進路指導計画の作成と計画的な推進を図り、キャリアアルバムを活用する。 特別な支援を要する生徒への適切な対応を行い、保護者との連携と合理的配慮の推進を図る。 | 面談指導の計画的な実施や、個の課題解決を支援する個別の会話・面談や言葉かけを行う。 適切な進路指導計画の作成と計画的な推進を図り、キャリアアルバムを活用する。 特別な支援を要する生徒への適切な対応を行い、保護者との連携と合理的配慮の推進を図る。 | 4 先生に相談すると安心できる生徒が80%以上。 | 3 | 4 SNSルールの徹底を家庭に指導した。 | 4 | 教員に対して肯定的に感じている生徒は約85%だった。丁寧に向き合う姿勢が活かされている。 | A | 教員に対する生徒の気持ちも問題ない。日頃の指導の成果を感じる。 | |
| | | | | 3 先生に相談すると安心できる生徒が60%以上。 | | 3 SNSルールを学級で指導徹底した。 | | | | | |
| | | | | 2 先生に相談すると安心できる生徒が40%以上。 | | 2 SNS家庭ルールの作成を家庭に指導した。 | | | | | |